

平成 23 年 5 月 27 日

岩手県沿岸漂流物分布調査結果

岩手県水産技術センター

平成 23 年 5 月 11～12 日と 23～25 日に岩手県漁業指導調査船北上丸で目視により宮古湾から大船渡湾にかけて漂流物の分布調査を行いましたので、その結果をお知らせいたします。

5 月 11～12 日

表面水温は、9～12℃台で、山田湾、釜石湾、吉浜湾周辺に潮目が形成されていました。漂流物は、1m 未満のサイズが山田湾、釜石湾、首埼周辺、1～2m のサイズが山田湾、御箱崎、尾崎、首埼周辺、2m 以上のサイズが尾崎と大船渡湾周辺にそれぞれ高密度域が認められました。

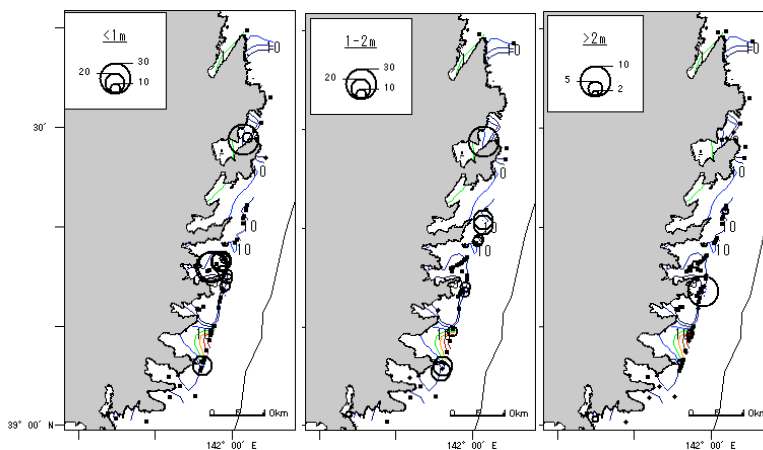


図 1 5 月 11～12 日の漂流物分布図

5 月 23～25 日

表面水温は、10～12℃台で、釜石から綾里崎にかけてと大槌湾付近に潮目が形成されていました。漂流物は、1m 未満のサイズが尾崎から吉浜湾に至る海域と、山田湾、および大船渡湾周辺、1～2m のサイズが山田湾、御箱崎、尾崎周辺、2m 以上のサイズが山田湾、尾崎、大船渡湾周辺にそれぞれ高密度域が認められました。

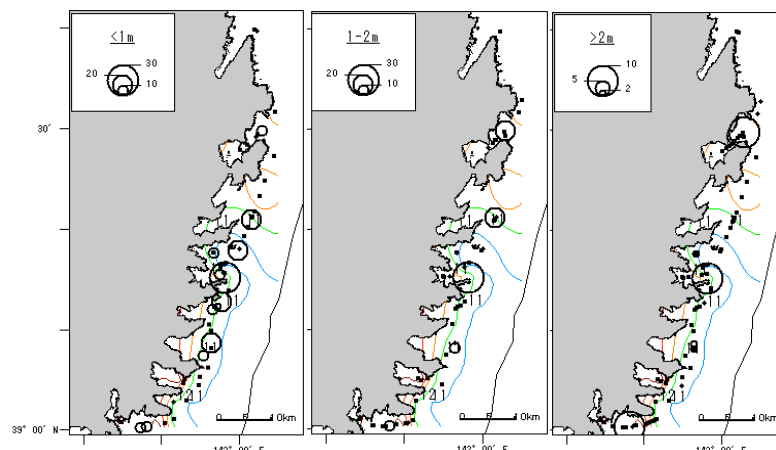


図 2 5 月 23～25 日の漂流物分布図

漂流物組成

観察された漂流物は、5月11～12日には主に材木や建材、漁業用資材、流木、発泡片など様々でしたが、5月23～25日には材木片や漁業用資材のほか、プラスチック小片が大部分を占めていました。サイズ別の組成は、5月11～12日には1m未満から2m以上のサイズまで様々なサイズで構成されていましたが、5月23～25日には1m未満の占める割合が高くなり、2m以上の大型漂流物が減少していました。

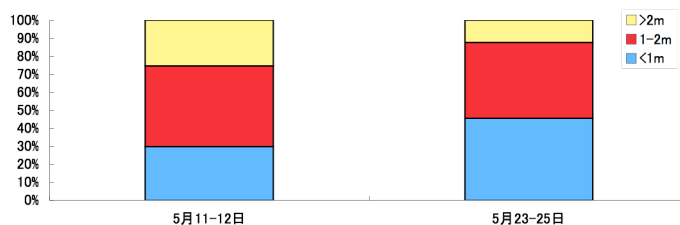


図3 漂流物のサイズ組成